

## 鵜住居区復興まちづくり協議会・地権者連絡会 ⑥上中島仮設団地 議事要旨

記

■ 日時 12月18日（水）18時30分～20時30分

■ 場所 上中島仮設談話室

■ 次第

### 1. 挨拶

鵜住居地区地権者連絡会 会長 古川愛明

釜石市復興推進本部 都市整備推進室長 前田達也

### 2. 住宅再建意向調査の結果について

- 昨年度の調査対象とした約5,000世帯から、住宅再建済みの世帯を除いた約4,200世帯を対象に行った。鵜住居地区では回収率は77.9%（12月4日現在）。
- 前回の調査に比べ、鵜住居地区で再建したいという世帯が増え472世帯。自力再建補助制度の拡充が要因と考えられる。
- 鵜住居地区で災害公営を希望する数は157世帯。
- 市全体でみると、災害公営住宅の入居希望者は変わらず、釜石東部地区の希望が多い。
- このアンケート結果の見直しを行いながら、計画に反映していく。

### 3. 鵜住居のまちづくりについて

#### 【道路整備について】

- 復興まちづくりに合わせて、国道45号線の線形について、三陸国道と協議しながら計画してきた。国道の幅員は全体で17m、両側に3.5mの歩道を整備する計画となっている。
- 釜石遠野線は寺前交差点の改善、幅員12m両側2.5mの歩道の整備を行う。谷地地区を通り、鵜住居川と平行に鵜住居小中跡地まで繋がる計画。
- また、JR線と平行して谷地地区を通る道路を整備する。
- JR線を挟んだ谷地地区と新川原地区をむすぶ道路を整備する。線路の下でも4.5mの高さを確保し、大型車両が通れるような道路とする。
- 新神地区の道路は、区画整理事業で街区道路を整備する。常楽寺周辺は幅員6.5mで計画している。

#### 【施設整備について】

- 鵜住神社付近の高台には鵜住居小・中学校の整備計画を進めている。標高約15mの高台になることで、避難施設としての機能を持つ学校となる。準備工事として、今後

木の伐採などを行っていく。

- 鵜住居駅前周辺には、約 2 ヘクタールの公共施設整備を計画している。人を集め、にぎわいを創出するという土地利用方針。追悼施設や体育館といった各施設の詳細な検討は今後行う。
- 駅南側には、市役所出張所や、公営住宅の整備を計画している。さらに南には、戸建ての災害公営住宅を計画している。換地計画の関係で、計画位置が多少変更になる場合があるがご了承いただきたい。
- 駅北東の街区には下水処理場を計画している。

#### 【土地の買い取りについて】

- 買い取り対象としている土地について、12 月 10 日に買収価格のお知らせ文書を発送。1 月中から契約のお願いをしていく。
- 本来であれば直接面談にてお知らせする内容であるが、3 月の仮換地に向け時間が限られるため、電話や郵送で価格等のお知らせをしていることをお詫びする。
- お手紙での案内後、担当業者から電話で連絡をする。
- 担当業者の紹介。ランドコンサルタント、UR 都市機構。  
市から説明された計画の骨格に基づき、換地設計を行っている。みなさまの個々の土地がどのくらいの面積、どこに、どうなるか、個別に説明させていただく。工事は、本来仮換地指定後となるが、承諾をいただき、仮の盛り土をしている。本格的工事は 3 月以降にはなり、かさ上げ工事を行っていく (UR 都市機構)
- 以前行った買い取り意向の調査結果を基に連絡をしているが、公共施設用地の確保も含むため、事業の為の面積等諸事情により、希望していない方にも連絡がある。

#### 4. 市道箱崎半島線について

- ルートは、釜石側から来ると、やまざき機能訓練デイサービスホーム付近から山へ入り、根浜の高台移転エリア (前川旅館再建位置付近) に出る。終点は既存の鵜住居 2 号線に接続する。
- 前回 (7 月) と変わった点は、区画整理事業に伴う道路と接続する部分の新川原連絡線。
- 測量・調査・設計の 26 年 3 月完了を目指している。用地買収、工事とともに根浜地区から進めており、順次鵜住居側の用地買収を行っていく。  
通常であれば、用地買収が確定してから工事発注するが、半島への早急な道路整備のため、先行発注している。工事完了は 29 年 3 月末を目指している。

## 5. 意見交換について

私も自分の土地に建てたい（自力再建したい）が、区画整理が終わってからではないと駄目なのか。何処に建てられるかわからないのか。

→ 区画整理が終わってからになりますので、来年2、3月には何処に建てられるかをお知らせする予定です。

自宅付近は何mかさ上げになるのか。

→ 1.0～2.0m程度のかさ上げとなります。

かさ上げの高さは？河川敷との差は？

→ 若干橋桁の分が高くなり、前後はそんなに変わりません（UR都市機構）。  
橋は堤防より低くできないので、1.0m～2.0m程度上がります。宅地の盛土も同じ程度行います。

現在建っている自分の家はそのままか。高さは現状のままでよいのか。

→ かさ上げや仮換地を考えると、動かす必要があります。建物を動かす際は、建物の中のものも調査をして、どれくらいお金がかかるのか算定してから進めていきます。

一戸建てを申し込んだが当たらない。仮設住宅は1部屋しかなく早く出たいので、鵜住居の一戸建てを自力再建することにした。早く来年2月に動く場所を教えてもらえばと思う。

→ 来年春前には、より詳しい工事の工程表を提示できる予定です。場所・面積等は、直接お会いして説明させていただきます。

100坪だとどれくらい減歩によって面積が変わるか？

→ 平均で90坪くらいになります。減歩された10坪程度の土地は、公園や道路として整備させていただきます。  
先行して、下水処理場と国道45号線の整備を行い、平成27年度中の完成を目指します。次に、その周辺を工事にとりかかり、平成28年度には造成工事、下水道整備が終わり建築できる状態になる予定です（UR都市機構）。

根浜に行くトンネルはどこか。

→ はじめはトンネルという話もありましたが、山を切り開いて道路を通すことになりました。